



NDC研修センターの挑戦

地域包括ケアセンターいぶき 桐山真理子

日増しに寒くなってまいりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。今月担当します、NDC 3期生の桐山です。

私は滋賀県米原市にある地域包括ケアセンターいぶきに勤務しています。ケアセンターいぶきは診療所、老健、居宅介護支援事業所などからなる複合施設で、その中で私は老健に所属しています。老健のNDCとして、利用者さんの体調不良時の初期対応やその後の評価を行ったり、情報提供書の作成などを行っています。まだまだ日々学びながらの活動ですが、医師のタスクシェア・タスクシフトについて、自分にできることは何だろうと模索し、試行錯誤しながら活動させていただいています。

それと同時に、私はJADECOMアカデミーNP・NDC研修センターの業務も併任させていただいています。具体的には1週間のうち8時間、研修生のメンターとして、主に遠隔で業務にあたっています。

今回は、NDC研修や研修センター、メンター制について、少しご紹介させていただければと思います。

2022年、今年度は7期生の7名が研修中です。私自身は2018年に3期生としてNDC研修を受講しました。研修センターの業務のうち、メンター制は2021年度の6期生から試行され、私も同年度から研修センターの業務に携わらせていただくようになりました。

自分が研修を受けてからたった3年でしたが、研修内容を徐々に確認すると自分の時と随

分変わっていることに驚きました。変更点は多々あるのですが、とにかく思ったのは、「あの時もっと習いたかったことが、あらかじめ研修に組み込まれている……!!」といううらやましい事実です。私的に、最たるものは症例レポートの書き方です。もちろん自分が研修を受けていた時も書き方についてレクチャーをいただきましたが、今はさらに時間をかけて、実習に出る前に医師からご指導いただいています。変更に至った経緯としては、実習に出た際に症例レポートに苦勞する研修生が多かったこと、また不慣れな症例レポートのため、実習先の指導医に多くのコメントや修正のアドバイスをお願いしなくてはいけない状況があったのだと思います。私自身、研修期間中(今も?)の症例レポートは突っ込みどころ満載でした。レクチャーが手厚い分、提出するレポート数は増えていますが……それだけ、大事ってことですので。研修生の皆様、頑張ってください。

指導医や関係者の皆様、また研修生自身からもフィードバックを受け、研修内容は毎年どんどん更新されています。まだ研修センター業務に携わらせていただいて長くはありませんが、研修内容をより良いものにと建設的に考えていく作業は、大変さもありながら楽しいものだと感じています。

そんな中、メンター制もまだ2年目の新しい取り組みです。当初、メンター役に声をかけていただいた時、「何をすればいいんだろう」と思いました。しかし実際に目標設定やポートフォ



全員集合できていませんが…NDC 7期生やNDC研修修了生、研修センターメンバー

リオの確認、e-learningの演習問題へのコメントをさせていただくようになると、思ったよりもやりたいこと、伝えたいことはありました。その多くは「あの時こうしていればよかった」という自分自身の経験が元です。

それは知識や技術だけにとどまらず、自分自身の考え方や振る舞い方についても同様です。自施設とは違う環境で専門的な研修を受ける中で、自分自身を振り返り、新たな気付きや改善すべき課題もたくさんありました。そんな経験を元にしたことを伝えられるのは、研修修了生がメンターを務めるメリットだと思います。

また、NDC研修の先には自施設での研修、そして実際の活動があります。先を見越しておくことは本当に大切なことであると、研修修了生のほとんどが痛感したのではないのでしょうか。そんな私たちの思いを、少しでも研修の初期から意識してもらい、研修生が困らなければいいなと願っています。

研修センターとしては学習や実習だけにとどまらない支援、つまりNDC同士の助け合いや協

力、相互の成長をはかっていけたらと思っています。NDC自身が自施設で業務を行いながらも、自らの仲間を増やすべく、研修に関する評価や改善のサイクルをうまくまわしていくこともNDCとしての挑戦かと思っています。

何より、期や施設の垣根を超えたつながりは自らの刺激になりモチベーションの維持にもなっています。単純に楽しいのです。

NDC研修はその修了生を増やすためにも2期制(年2回開講)へと移行していきます。まだまだ課題は多く、準備に時間を要しそうですが、メンターはじめ、研修センターももっと盛り上がりたてるとすごい研修にしていきたいと思っています。しかし、研修センターだけでは研修は成り立ちません。研修を受け入れてくださる実習先施設の指導医、関係者の皆様、また研修生を送り出す施設側の皆様、たくさんの方の協力をもって成り立っています。いつも本当にありがとうございます。何卒、今後もNDC、NDC研修生、NDC研修センターをよろしく願います！